

Discussion 倫理 「功利主義」をひも解く

組 番 氏名

評価

*テーマを振ったら、話し合う時間 2 分をとり全体に意見を出してもらおう。最後、自分たちが用意した総括で締める。

《テーマ》

A. アダム=スミスの「共感」 → 万人に「共感」されないことは、許されない行為なのか？

考察する視点

B. アダム=スミスの「見えざる手」 → 個人が幸福になれば、社会全体は必ずよくなるのか？

考察する視点

C. ベンサムの「功利性原理」 → “幸せ” は金銭評価できるのか、それともできないのか？

考察する視点

D. ベンサムの「最大多数の最大幸福」 → 多数者のために、少数者が我慢すべきこととは？

Consideration area for question D.

考察する視点

E. ベンサムの「制裁」 → 死刑になりたいから大量殺人をする凶悪犯をどう防ぐか？

Consideration area for question E.

考察する視点

F. ミルの「質的功利主義」 → お笑いよりも、ドキュメンタリーの方がなぜ高尚と言えるのか？

Consideration area for question F.

考察する視点

G. ミルの「満足した豚よりも…」 → 努力をしない生徒は、「満足した豚」なのか？

Consideration area for question G.

考察する視点

Discussion 倫理 「功利主義」をひも解く

予想される生徒の回答（発言）

ディスカッションの様子や生徒ワークシートの記述から特徴的なものを抜粋して記載したもの。

A. アダム＝スミスの「共感」 → 万人に「共感」されないことは、許されない行為なのか？

- ・ たとえ共感されないことでも、正しい選択が自分で下せるような判断能力を備えることが「道徳的」ではないのか。
- ・ 共感するかどうかは、その人の価値観によって変わってくるから、万人に共通のものさしが無い以上、限界もある。
- ・ 自分が情報発信しようとするときに、常に他人の視点を意識しようという態度が、スマホ依存の僕には必要な気がする。

考察する視点
他人を理解するとはどう
いうことだろう？

他人を理解しようとする姿勢は、自分のもっている判断基準だけで決めるということではなく、自分の選択が間違っているのではないかと慎重になるから、アンガー・マネジメントにもつながる。

➡ 関連する〇〇教育：「人権教育」（他者理解）

← どの〇〇教育に当たるかは伝えない

B. アダム＝スミスの「見えざる手」 → 個人が幸福になれば、社会全体は必ずよくなるのか？

- ・ 一人一人が、全員ハッピーな状態なら、その社会は全体で見ても幸せ度は高まっているとしか思えない。
- ・ 井の中の蛙みたいに、思い込みで幸せといっても、端(はた)から見ればちっともよい社会ではない可能性がある。
- ・ そもそも個人の幸福は、社会全体をよくするために増やすものか？ 幸福自体が測りようのないものなのではないか？

考察する視点
社会が幸福を目指すのに
もっとも大事なことは？

社会のための個人ではなく、個人のための社会なんだから、いろんな考え方や価値観があるということ的前提にして、人々の個性を認め合えるような社会をつかっていきたい。

➡ 関連する〇〇教育：「主権者教育」（社会正義）

C. ベンサムスの「功利性原理」 → “幸せ”は金銭評価できるのか、それともできないのか？

- ・ もし家族が殺されてしまっても、損害賠償で埋め合わせをしているのだから、金銭評価ができないとはいえない。
- ・ 何でもお金やモノで解決できると決めつけているのは、どうしても望ましい考え方とは思えない。
- ・ 客観的に分かりやすいものさしとしてお金であるだけで、お金の持つニュアンスに下品さがただようだけ。

考察する視点
働くことはお金のための
のか？

金儲けをして何が悪いんですか？ だと思ふ。やりがいや社会貢献というのは、所詮キレイゴトなので給料なしに誰も働くなんでできない。やりがいは次の話で、まずはお金のための決して悪ではない。

➡ 関連する〇〇教育：「キャリア教育」（将来の設計）

D. ベンサムの「最大多数の最大幸福」 → 多数者のために、少数者が我慢すべきこととは？

- ・ もし、5人が1人をいじめて快樂だったら、どうやっていじめを食い止めることができるのだろう。
- ・ 幸福が減るのも悪なら、不幸がなくなるのも悪。でも10億円持っている人が5億円になっても、1万円もない人が生きていけないくらい困っているのに、2万円になったところで生活に困っている状況は変わらないのだから、よい哲学ではない。

考察する視点
少数意見を尊重する具体的な方策は何だろう？

社会全体でとらえてしまったら、少数派はいつまでたっても報われないと思う。全体に埋もれてしまふのではなく、一人一人の個人をしっかりクローズアップしていくべき。

➡ 関連する〇〇教育：「主権者教育」（少数意見の尊重）

E. ベンサムの「制裁」 → 死刑になりたいから大量殺人をする凶悪犯をどう防ぐか？

- ・ 自殺する勇気がないからといって死刑を望んで犯罪に走る人に対しては、抑止力は何も働かない。
- ・ 死刑になりたくて犯罪を起こした人には、望みどおり死刑にしてはいけない。
- ・ 部活を辞めたいから、あえて無断欠席をして顧問の先生の怒りを買うのと同じ。

考察する視点
国家による殺人はなぜ許されるのか？

アダム＝スミスの共感のように、みんなが死刑にすべきだと納得しても、それを死刑にする理由として正当化できるのか。みんなが決めたからと機械的に殺人をするしくみに疑問を持った。

➡ 関連する〇〇教育：「法教育」（法の支配）

F. ミルの「質的功利主義」 → お笑いよりも、ドキュメンタリーの方がなぜ高尚と言えるのか？

- ・ 私たちでいえば、マンガを読むより歴史小説の方がなぜ偉いと思われるか。マンガが低いという位置づけはどこから来るか？
- ・ マンガはほとんど誰でも楽しめる（読める）けど、歴史小説を楽しめる人は一部の人だから、「数」の問題。
- ・ 限られた人だけが楽しむ世界を高尚というすると、マニアたちはみんなが高尚のカテゴリーに入ってしまう。

考察する視点
情報の受け手として注意すべきことは何だろう？

スマホを見てどんどん情報が入ってくるけど、いつの間にかその情報が正しいかどうか、必要かどうか、意味があるかどうかを確かめなくなってきていて怖いものを感じる。

➡ 関連する〇〇教育：「消費者教育」（消費者主権）

G. ミルの「満足した豚よりも…」 → 努力をしない生徒は、「満足した豚」なのか？

- ・ 第一志望の大学に落ちて絶望して生きていくよりも、楽しんで合格しても「生き生きと」生きていた方が幸せのはず。
- ・ 努力しない人は「それでも自分は豚じゃなく、心底ハッピーだ」と言うわけだし、努力して失敗している人も「確かにうまくいっていないけど、努力しなかったよりまし」と言っていて、どちらも自己満足の世界じゃないのか？

考察する視点
多様性を認めることは何を
目指しているだろう？

世の中には必死に努力をする人もいれば、しない人もいる。でも、努力して幸福をつかんだ人も、努力しなかった人と共存していくしかないし、多様性を認めるというのは自分をただ認めること。

➡ 関連する〇〇教育：「道徳教育」（相互理解、寛容）

H. ミルの「他者危害の原則」 → 自分の部屋の中で麻薬を使用することはなぜ禁止されるのか？

- ・ 自分の部屋にこもって、誰にも迷惑をかけないのなら、本当は麻薬を禁止する理由はないんじゃないか。
- ・ 麻薬を使用する前は「部屋から出てはいけない」という正常な判断ができるけど、使用すると「部屋から出てはいけない」という判断が利かなくなって、部屋から出て他人を傷つける可能性があるから。

考察する視点
社会のルールはなぜ存在
するだろう？

スポーツのように、ルールは誰かのために守るのではなく、自分のために守っている。それは失格になりたくないということだけではなく、勝っても負けても自分の納得がいくためにフェアプレイを守る。

➡ 関連する〇〇教育：「法教育」（遵法精神）

I. トリアージ・タグ → 命の選別は許されるのか？

- ・ 東日本大震災の時も、3割程度はミスジャッジがあって、助かるはずの命が助からなかったというのを聞いたことがある。
- ・ 究極の状況で、同じ時間に5人を救えるなら、1人を犠牲にしたとしても、誰からも責任を問われなと思う。
- ・ シビアな話、助ける対象が高齢者なのか、若者なのかによって、タグの色が変わっても仕方ない気がする。

考察する視点
生命は絶対優先のもの
と言えるのか？

戦争の時に敵の命を奪うのは正義になるから、絶対優先とは限らない。戦争や大災害の非常時でも人命は絶対守るというルールの創設が必要。

➡ 関連する〇〇教育：「道徳教育」（生命の尊さ、いのちの尊厳）

J. パターナリズム → 本人の利益が増進するなら、強制するのは許されるのか？

- ・ お父さんが口うるさく言ってくれるのは私のためと分かっているけど、正直やめてほしい（私の勝手でしょ）。
- ・ 大人になっても、健康のためにたばこは控えましょうは余計なお節介で、肺がんで死んでも自業自得（本人の自由）。
- ・ 肺がんで治療するのに、莫大な医療費を使い込むわけだから、たばこを吸って増税につながるなら迷惑行為になる。

考察する視点
「相手のため」は余計
なお節介なのか？

自由な社会だからこそお節介が必要。もし、忠告をしていけない世の中になったら、すごく怖いと思う。
自由ばかり尊重しすぎて、何も言い出せない社会はギスギスして生きづらい。

➡ 関連する〇〇教育：「人権教育」（人権意識）

3 時間を通した総括の振り返りの抜粋

受験勉強をしていて、がんばっている自分を正当化するために、自分より努力していない人を見下していた。自分の努力を認めてもらうには、まず自分から、周りの人が自分とはちがう存在だということを認める必要がある。自分と同じ考えであるべきと決めつけて、勝手に自分で苦しんでただけかなと気づかされた。

働くのはお金ややりがいのためだと思っていた。社会に参加していくことが、自分を理解することになる。逆に言えば、自分を理解するためには、誰かとかわったり、社会の中に自分を置いたりしなければ、自分が何のために生きているのか、分かりっこない。

命は大事なもの、尊いもの。それ以上には深く考えず、言葉だけのきれいごとで止まってしまうけど、命を大事にする感覚は、他人を大事にしようとする態度や、自分を大切に思ったりできる態度でしか、本気で命を考えることにはならない。

私は、議論に積極的に参加できなかったけど、一つひとつのテーマで、自分だったら、と考えるようにした。視点を聞いて考えを書くと、中学校の道徳の時間でやったことに全部つながっている気がした。倫理の授業で道徳の見方が強くなった感じがするので、物事の考えがこれから変わっていくと思う。